

令和4年度事業報告書

(自) 令和4年4月 1日

(至) 令和5年3月31日

公益財団法人宮城県母子福祉連合会

令和4年度 宮城県母子福祉連合会事業報告

I 指定管理施設「宮城県母子・父子福祉センター」（以下「センター」という。）

の適正な運営

センターの管理運営に関する基本協定書及び年間協定書に基づき、次のとおり適正な運営に努めた。

1 センターの管理運営

(1) 施設の管理運営

① 職員の資質向上

各種の研修会等へ職員が出席し資質向上に努めることにしていたが、令和4年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各種の研修会はオンライン形式の会議が多かったことや、5年ぶりの県大会準備業務もあり前年度より参加の機会は少なくなった。会議にはできる限り出席するとともにインターネットや各種広報を活用して各職員のスキルアップに努めた。なお、令和5年度は出来る限り関係する研修会等に参加することとしている。

- ・ 職業紹介責任者講習（8月5日）
- ・ 甲種防火管理新規講習（11月17日）
- ・ 令和4年度就労促進情報関係者連絡会議（令和5年3月12日）

② 業務執行体制

会長・副会長会議を月1回程度、年10回開催し指定管理事業の円滑な運営を行った。

③ 個人情報の適正な取扱い

個人情報に関する書類は、所定の場所に保管、管理し、個人情報の取扱いを適正に行った。

④ 令和3年度事業に関するモニタリング・評価

指定管理者制度導入施設のモニタリング・評価（令和3年度事業分）を行った。宮城県から「総合的に適切な管理運営がなされている。また、新型コロナウイルス感染拡大の中でも感染拡大防止に努めながら、各関係機関や関係団体との交流・連携を図りながら、職員の資質向上やひとり親家庭への支援の充実に向けた積極的な姿勢が評価できる。」との総合評価を得た。

⑤ センターの利用状況

(ア) 来館：1,738名（講習会等708名、相談102名、託児90名、その他838名）

(イ) 電話：321名（生活一般147件、児童31件、経済的支援157件、その他1件 計延336件）

(ウ) 日曜電話相談：60

名（生活一般34件、児童20件、経済的支援12件、その他0件 計延66件）

(2) 相談事業

① 一般相談件数 [電話、来館]

(単位：件)

相談者 相談内容	母子家庭	父子家庭	寡 婦	計	摘 要
生活一般について	137	5	5	147	家庭紛争、就職等
こどもについて	28	3	0	31	養育、就職等
生活援護について	153	4	0	157	福祉資金等
そ の 他	1	0	0	1	母子生活支援施設等
計 (相談延べ件数)	319	12	5	336	

② 母子父子家庭等電話相談件数

電話相談員を配置し、各種相談を実施した。相談件数：66 件 (延べ件数)
職員用資料として過去の相談事例集を作成し、活用している。

③ 母子父子家庭等特別相談件数 [法律相談]

県事業として弁護士による専門的な相談を、毎月 1 回第 3 木曜日に実施した。

(単位：件)

相 談 者	母子家庭	父子家庭	寡 婦	計	摘 要
相談件数	19	0	0	19	離婚に伴う養育費・親権、面会交流等

(3) 利用者サービスの向上

① 就業支援講習会受講者への配慮

子育て中の母親の受講の便宜を図るため就業支援講習会、就業支援セミナーを開講し、希望者には受講時間中の託児を実施した。

② 日曜日の相談対応 [一般相談、電話相談]

日曜日に開館し、就労、子育て、日常生活上の諸問題について電話及び来館による相談に応じ、助言等を行った。

③ 就業などに関する情報提供

「本会ホームページ」、「県政だより」、「各市町村だより」等への掲載、無料の広報媒体への掲載及び市町村、市町村社協など関係機関へのリーフレットの配布により就業支援講習会、各種相談事業及び求人情報等に関する情報提供を図った。

(4) 利用者の苦情、要望等の把握

① 苦情等解決体制の整備

苦情解決に関する第三者委員を委嘱し、適切な苦情処理体制を整備した。(令和 4 年度苦情案件なし)

② アンケート調査による意見・要望等の把握

就業支援講習会、就業支援セミナー受講者全員にアンケートを実施し、意見・要望等を把握して次年度の講習等に反映させるとともに各地域団体への入会又は個人会員としての加入を促した。

(5) 施設の維持管理等

① 施設・設備の維持管理

センター消防用設備の保守点検、受水槽・高架水槽の清掃、飲料水検査及び定期清

掃並びに敷地内の除草、樹木の剪定等を行い施設設備の維持・管理に努めた。なお、令和4年3月の福島県沖地震で被害のあった3階談話室の補修を行った他、隣地との境にせり出していた樹木の伐採を行った。

② 環境配慮

「わが社のe行動（eco do!）宣言」制度の趣旨に則り、節水、節電、ゴミ削減等に務めた。

③ 施設の補修等

玄関の雨水排水管の補修及び汚水排水管詰まりによる清掃を実施した他、上水道漏水疑いについて仙台市水道局から点検の指導があり、検査したが原因が判明せず、漏水量が少量であることから当分推移を見ることとした。

(6) 安全対策

① 施設の安全確認

防火管理者のもとに火元責任者を定め、日常的に火災予防、施設の安全確認を実施した他、託児児童の安全の為に中庭の隣地境界に柵の設置を行った。

② 機械警備

警備会社にセンターの機械警備を委託し、夜間、休館日における施設の安全確保を図った。年度を通じ異常事態はなかった。

2 母子父子家庭等電話相談事業

(1) 母子父子家庭等電話相談事業（再掲）

就労している者も利用しやすい日曜日等を相談日とし、電話相談員を配置して相談に応じた。

(延べ件数)

相談内容 \ 相談者	母子家庭	父子家庭	寡婦	計	摘要
生活一般について	26	8	0	34	就職、家庭紛争等
子どもについて	15	5	0	20	養育、不登校等
生活援護について	8	4	0	12	貸付資金等
その他	0	0	0	0	
計	49	17	0	66	

3 母子父子家庭等就業・自立支援センター事業

(1) 就業支援事業

① 就業相談

各ハローワーク、介護福祉施設及び一般企業等と連携し、相談者、就業支援講習会受講者及び当センターの求職登録者に職業紹介・求人情報の提供を行い、求人企業へ就職斡旋を行った。その結果、就業支援講習会受講者を含め5名が就職した。

区分		母子家庭	父子家庭	寡婦	計	
相談件数(延べ件数)		125	2	0	127	
相談者のうち、求職登録した者		15	1	0	16	
就 職	常勤	0	0	0	0	
	職種	サービス業(介護職含む)	0	0	0	0
		事務	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0
実 績	パート・非常勤	4	0	0	4	
	職種	サービス業(介護職含む)	1	0	0	1
		事務	1	0	0	1
		その他	2	0	0	2
計		4	0	0	4	

※ 就業支援講習会受講者の受講後の就職、転職状況 ((1) ①の内数)

区 分		宮城県事業		仙台市事業		計	
		介護職員	パソコン	介護職員	パソコン		
受講者数		3	17	16	16	52	
受講者のうち、求職登録した者		0	1	2	5	8	
登録者の就職実績	常勤	0	0	0	0	0	
	職種	サービス業(介護職含む)	0	0	0	0	0
		事務	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
	パート・非常勤	1	0	0	0	1	
	職種	サービス業(同)	1	0	0	0	1
事務		0	0	0	0	0	
その他		0	0	0	0	0	
計		1	0	0	0	1	

(2) 就業支援講習会等事業

① 就職・転職支援セミナーの開催

i 開催場所：センター

ア講師：キャリアコンサルタント 瀬尾 千恵美 氏 7回

イ内容：①働くってどういうこと？ ②自分らしさとは？ ③社会人として求める人材像とは？

④就職・面接に備えるセミナー ⑤ビジネスにもマナーがあるの？ ⑥自分で歩む贈り物他

ii 開催状況

回数	開催日	参加者数	託児数	回数	開催日	参加者数	託児数
1	4月17日	8	2	5	9月25日	6	3
2	6月22日	5	0	6	11月20日	8	0
3	7月31日	6	1	7	2月26日	6	1
4	9月14日	4	0	合計		43	7

② 就業支援講習会の実施状況

講座名	講習期間	定員	申込者		受講者		修了者	
			県	仙台市	県	仙台市	県	仙台市
介護職員初任者研修(春期)	4/10~9/25 各日曜21日間 実習(コロナのため中止)	20	0	5	1 (補1)	8 (補3)	1 (補1)	4 (補3)
介護職員初任者研修(秋期)	9/4~2/26 各日曜21日間 実習(コロナのため中止)	20	2	4	2	8 (補4)	1	7 (補4)
小計		40	2	9	3 (補1)	16 (補7)	2 (補1)	11 (補7)
エクセル2019(日曜コース)	4/17~7/17 日曜14日間	15	5	8	4	4	4	4
ワード2019(平日コース)	6/22~8/12 水・金曜16日間	15	1	4	1	4	0	4

ワード 2019 (日曜コース)	7/31~11/6 日曜 14 日間	15	4	8	4	3	4	3
エクセル 2019 (平日コース)	9/14~11/9 水・金曜 16 日間	15	2	2	2	2	2	2
エクセル 2019 (日曜コース)	11/20~R5. 3/5 日曜 14 日間	15	7	4	6	3	6	3
小 計		75	19	26	17	16	16	16
合 計		115	21	35	20 (補1)	32 (補7)	18 (補1)	27 (補7)

※ 県：仙台市以外 PC 合格者 16 名、市：仙台市内 PC 合格者 16 名

※ 表中の(補)：受講者・修了者のうち、補講を受けた者

③ 託児の実施

講習会及びセミナー受講者の子(満3歳以上、小学3年生以下)の託児を行った。また託児室に玩具など必要な物品を整備した。

・託児児童数 延べ 90 名

(3) 就業情報提供事業

- ① 求職登録者、就業支援講習会修了者に対しハローワーク、県社会福祉協議会及び介護施設等からの求人情報を適宜提供し、本人の意向を確認しながら就業斡旋を行った。
- ② 本会ホームページに講習会・セミナーの開催日程等を随時掲載し、広報を行った。
- ③ 児童扶養手当現況届申請時に併せて就職情報・就職相談に関する情報提供や母子会の活動について各地区母子会と協力して実施することとしていたが、コロナ禍の影響等により実施できなかった。

II 母子父子家庭等及び寡婦の自立支援

1 仙台市母子家庭等就業支援講習会事業(再掲)

講座名	講習期間	定員	申込者	受講者	修了者
介護職員初任者研修	4/10~9/25 各日曜 23 日間	5	5	8 (補3)	4 (補3)
介護職員初任者研修	9/4~R5. 2/26 各日曜 23 日間	5	4	8 (補4)	7 (補4)
小 計		10	9	16 (補7)	11 (補7)
エクセル 2019 (日曜)	4/17~7/17 日曜 14 日間	7	8	4	4 (MOS 3)
ワード 2019 (平日)	6/22~8/12 水・金曜 16 日間	7	4	4	4 (MOS 3)
ワード 2019 (日曜)	7/31~11/6 日曜 14 日間	7	8	3	3 (MOS 3)
エクセル 2019 (平日)	9/4~11/9 水・金曜 16 日間	7	2	2	2 (MOS 1)
エクセル 2019 (日曜)	11/20~R5. 3/5 日曜 14 日間	7	4	3	3 (MOS 3)
小 計		35	26	16	16
合 計		45	35	32 (補7)	27 (補7)

※ (MOS) は、マイクロソフト オフィシャル スペシャリストの合格者数

2 宮城県母子・父子福祉センター事業

パソコン講習受講生が自習を行う際、希望者に対しパソコン研修室を開放し、研修効果の向上及び受講生の利便性が向上した。

3 母子部活動の活性化

令和4年度は東北・北海道地区母子部長会議第1回が9月3日(土)に札幌市定山溪で開催、第2回が令和5年1月29日(日)にオンラインで開催され、母子部長が参加した。

また、令和5年3月11日(土)～12日(日)に全国母子部長研修会が開催され、本県の須田母子部長が全母子協の母子部長に選出された。(就任は令和5年度)

III 母子父子家庭等及び寡婦福祉情報の発信

1 ホームページによる情報提供

本会ホームページを随時更新し、本会事業の広報を行った。学生服リサイクル店のホームページに相互リンクを設定した他、新たに、ふーどぼんく東北 AGAIN のリンクも設定するなど連携を強化した。

2 リーフレット等の活用

就業支援講習会のリーフレットを、県、市町村、ハローワーク、保育所など関係機関へ送付し当自立支援センター事業の周知を図った。

3 会報の作成

会報「白百合」を令和4年6月、「県母連だより」(事務局だより)を12月に発行し、会員及び関係機関等へ配布し宮城母連の活動を広報した。

IV 地域団体活動の支援

1 母子父子親家庭等子育て支援事業

(1) ひとり親家庭支援事業

コロナ禍ではあったが、年度中途から行動制限の緩和がなされ、令和4年度は複数の地域団体に経費の一部を補助することができた。

地域団体名	実施日	参加者	事業内容
白石市母子寡婦福祉会	令和4年6月29日	18名	フレイル予防研修会
角田市母子福祉会	令和4年7月9～10日	31名	手芸講習会
角田市母子福祉会	令和4年8月27日	25名	梨狩り
県母連・仙南(蔵王)地方 母子寡婦福祉連合会	令和4年11月27日	33名	リンゴ狩り
女川町ひとり親家庭福祉会	令和5年3月25日 ～26日	15名	東京ディズニーリゾートへの旅

(2) 招待・贈呈事業

① 東北楽天ゴールデンイーグルス観戦招待(楽天生命パーク宮城)

東北楽天ゴールデンイーグルスから提供をいただき、会員を観戦招待しコロナ禍ではあったが55試合延べ285人の方々に観戦していただくことができた。

また、こども未来プロジェクト楽天イーグルス試合に3回11名が観戦した。

② ふれあいきずな事業(ランドセルプレゼント)

社会福祉法人恩賜財団宮城済生会からの助成、ソロプチミスト仙台、学生服リユースSHOP さくらや仙台店及び株式会社藤崎から寄付を頂き、県内のひとり親家庭の小学校新入学児童(令和5年4月入学)36名(応募者41名)にランドセルを贈呈した他、これまでの本事業で最終的に辞退等があり手元に残っていたランドセルについて、県の

7 保健福祉事務所に要望を募ったところ、大崎市、白石市、女川町の希望者に対し各 1 個ずつ贈呈することができた。

③ 本プレゼント事業

児童の学習・絵本・歴史漫画・料理等の分野から 4 種類の図書を選定し、計 15 名（応募者 35 名）に贈呈した。

④ 食品配布（お寺おやつクラブ）

大満寺及び慈恩寺等から延 15 回の食品提供があり、希望する個人会員と受講生延 74 名に配布した。

⑤ 親子日帰り旅行

親子の交流機会を提供するため 11 月 12 日（土）八木山ベニーランド日帰り旅行を実施し、応募者（38 世帯 112 名）の中から 25 世帯、大人 25 名、子供 42 名、計 67 名が参加した。

⑥ リンゴ狩り

令和 3 年度は霜被害等もあり開催出来なかったが、令和 4 年度は県南地区（蔵王）及び県北地区（登米）で実施することが出来、県南地区は 24 名、県北地区は 17 名が参加し、何れも好天に恵まれたこともあり好評であった。

令和 5 年度は県母連として県北での実施を予定している他、これまで実施出来なかった県央の個人会員を対象とした行事を予定している。

⑦ なべっこ交流会（個人会員茶話会+母子会員交流）

開催予定時期が他の行事と重なったことや事務局体制が十分でなかったことから開催できなかったが、今年実施を予定している。

⑧ みやぎ婦人会館との共催事業

みやぎ婦人会館の「親子旅物語」事業を共催し、事業実施の広報を行った。

⑨ 国際ソロプチミスト仙台及び国際ソロプチミスト仙台からの要請により個人会

へ「女性のための教育・訓練賞」の広報を行ったところ、1 名の応募があり、北リジョン賞を受賞した。

(3) 夢を応援基金「ひとり親家庭支援奨学金制度」運営協力

全国母子寡婦福祉団体協議会が株式会社ローソンから資金提供を受けて実施した当該奨学生募集に当たり県母連で応募者の募集、選考、推薦を行い、宮城県では 7 名が支給対象となった。（応募者 37 名）

2 広報活動の推進

地域団体の機関紙発行を支援するため、2 団体に発行経費の一部を補助した。

地域団体名	機関誌名	発行部数
仙台地方母子福祉連合会	ひまわり（2022 年 8 月発行）	180 部
角田市母子福祉会	りんどう（2023 年 1 月発行）	300 部

3 研修事業

(1) 全国母子寡婦福祉研修大会及び東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会

東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会〔令和 4 年 9 月 3 日（土）～ 4 日（日）札幌市定山溪〕に会長以下 15 名が参加し、研修討議や他県参加者との交流を通じて課題・情報の共有を図ることができた。

また、全国大会はコロナ禍のため、開催地滋賀県の近隣以外はリモートでの参加となり、本会は1名の参加となった。

(2) 第56回宮城県母子寡婦福祉大会を利府町文化交流センター5年ぶりに開催し、約150名の参加があり、多年にわたり母子寡婦福祉団体の活動に尽力された31の個人及び団体に知事表彰、会長表彰、会長感謝状が贈られた。

また、県大会準備のための実行委員会を7月に設置し、各地区から実行委員1～2名を選出し都合4回開催した。

4 各種要望活動

(1) 宮城県社会福祉協議会を通じたの要望

宮城県社会福祉協議会からの照会に応じて県に対して、県の施設における自動販売機の設置を要望した。

なお、宮城県知事及び仙台市長への要望については、コロナ禍の影響で中止とした。

V 適正な法人運営

1 経営の充実強化

理事会、評議員会等の各種会議を開催及び書面による決議により、当会の適正な運営を図った。

(1) 理事会、評議員会の開催等

① 理事会

i 令和4年6月10日(金)決議の省略

- 〈決議事項〉
- ① 令和3年度事業報告について
 - ② 令和3年度決算について
 - ③ 令和4年度定時評議員会の開催について

ii 令和5年3月5日(日)

- 〈議案〉
- ① 令和5年度事業計画(案)について
 - ② 令和5年度収支予算(案)について
 - ③ 令和4年度第2回評議員会の開催について

② 評議員会

i 令和4年6月27日(月)

- 〈決議事項〉
- ① 令和3年度事業報告について
 - ② 令和3年度収支決算及び監査報告について

ii 令和5年3月26日(日)

- 〈決議事項〉
- ① 令和5年度事業計画(案)について
 - ② 令和5年度収支予算(案)について

(2) 監査の実施

監事会 令和4年5月25日(水)

- 〈監査事項〉
- ① 令和3年度会長・副会長の職務の執行状況について
 - ② 令和3年度事業報告について
 - ③ 令和3年度決算について

【監査結果報告】 貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録並びに諸帳簿類は適法かつ正確である。

(3) 会長、副会長会議

会長、副会長会議を10回開催し、事業執行の進行管理を図った。【4/10(日)、5/29(日)、7/24(水)、8/18(木)、9/7(水)、10/9(日)、11/6(日)、12/18(日)、1/29(日)3/5(日)】

- (4) 予算の効果的、効率的な執行に努めた。
- (5) 指定管理業務の自己評価を行った。(再掲)
- (6) 個人情報の取扱いを適正に行った。(再掲)
- (7) 職員の研修に努めた。(再掲)
- (8) 本会ホームページを随時更新し常に最新の情報を掲載した。また事業開催のリーフレット等により、県母連事業の広報を行った。(再掲)
- (9) 本会をより広く社会全般にPRするため、シンボルマークなどを封筒等の各種媒体に登載した。また、県母連のぼりを母子・父子福祉センター内に1本常時設置している。
- (10) 各種飲料自動販売機事業を継続実施した。
宮城県第二総合運動場（宮城県スポーツ協会）2台、色麻町パークゴルフ場内駐車場1台、計3台設置併せて既存自販機の設置先である公益財団法人宮城県スポーツ協会と継続契約を締結及び色麻町農業伝習センターへ設置の継続を要請した外、宮城県スポーツ協会に依頼し、新たにグランディ研修所に1台の自販機を設置することができた。